



Title	日本語・日本文化研究 第29号 表紙
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化研究. 2019, 29
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/73694
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

日本語・日本文化研究

第 29 号

目 次

複合接続助詞「のだから」と集合解釈	中田 一志	1
日本語学習者による二字漢字語の書字的認知処理		
—非単語の処理に着目して—	大和 祐子	17
五山禅僧と医界 —黄山谷の詩の抄物から—	蔦 清行	33
言語学の理論的研究を阻害する諸バイアス	山泉 実	44
芥川龍之介「ひよつとこ」の時代批判	水野亜紀子	73
日本語母語話者の価値観の共有における成員カテゴリーの利用と実践		
—ライフプランをめぐる女子大学生の雑談の会話分析から—	高井 美穂	86
類型性から見た有対他動詞の研究		
—終止形活用語尾 [-aru] 自動詞と [-eru] 他動詞を中心に—	小池 康	104
中国人学習者による日本語の受身文の習得に関する一考察		
—短文完成テストの分析を通して—	李 偉	124
外国人技能実習制度における監理団体での日本語教育の役割		
—ある監理団体へのインタビューをもとに—	荒島 和子、吉川 夏渚	139
気づきにくい学習者／母語話者間のミスコミュニケーション		
—V-テミルと韓国語V-boda、タイ語lɔɔŋ-V-duu、クメール語sa:k-V-mə:lとの対照—		
……金谷由美子、プーンウォンプラサート・タニット、クイ・シェンキアン、バーンセン・ピシャモン		157
選択外国語としての日本語教育現場における教師の役割意識の構築		
—ロシアの大学における教育実践より—	斑目 貴陽	177
複合動詞の量的考察の結果を教育現場へ活かす方を探る		
—学術論文における使用頻度の高い複合動詞を試みとして—	高 娟	192
〈社会講談〉の誕生と展開 —白柳秀湖の『藤十郎と富蔵』と『事実の叛逆』を中心に—		
……ケオフォンランシー・ベンボーン		204
「記憶の心的述語」によって自己修復される際の語の選択に関する分析		
……千々岩宏晃		214
述語動詞の意味特徴からみる日本語と中国語の受身表現の使用傾向	陳 冬姝	228
複数の言語文化環境で育つ子どもの学びを育む支援に関する一研究		
—子どもの情報発信に着目して—	米澤 千昌	243
アラビア語を母語とする日本語学習者における自動詞・他動詞の産出について		
—「壊れるー壊す」を例に—	エルハディディ・アブデルラフマーン	258
日本語とクメール語における勧誘会話の対照研究		
—断り会話の構造を中心に—	クイ・シェンキアン	268
テ形接続構文における逆接の意味について	松浦 幸祐	280
文末における代名詞と「拡張（何ヲ）とがめだて文」との類似性	汪 聞君	290
タイ人日本語学習者の接続詞「そして」の使用状況および要因		
……スワンナコート・パッチャラーパン		300
タイ人日本語学習者の語彙学習ストラテジー選択に対する学習者要因の影響		
—日本在住のタイ人日本語学習者を対象に—	アッタイエム・タナポン	310
インクルーシブ教育のあり方に関する一考察		
—ある英会話学校における2名の小学生のエスノグラフィより—	岡田 春奈	320
ノダロウのスコープをめぐって	金 乾雄	330
類型の枠を超えた学習者の多様性		
—タイの日本語専攻学生の言語マップと言語ポートレート分析—	久保 亜樹	340
撫牛の初出と展開	茶園 直人	350
タイ語の友人同士の会話における悩み語りの構造の分析		
—日本語との対照研究に向けて—	チャランボン・スパーナン	360
近代における女性用海水着の日本化	袁 歆	371

2019年12月

大阪大学大学院 言語文化研究科 日本語・日本文化専攻